



舟渡小だより

令和8年9月1日

令和8年度

9月号

板橋区立舟渡小学校

校長 相澤 紀夫

志村五中・舟渡小 響き合う学びのエリア

舟渡の夏、学びの夏、豊かな夏

副校長 小川 玄

9月1日、学校には、子どもたちの元気な声が戻り、2学期が始まりました。2学期は、展覧会や舟っ子まつりなど楽しい行事がたくさんあります。その中で、子どもたちがどのような輝きをみせてくれるのか、どのように成長していくのか、とても楽しみです。

さて、およそ1ヶ月半に渡る夏休みはいかがでしたか？旅行に行ったり、普段会わない人と会ったり、子どもたちは、多くの経験をしたことと思います。実は、舟渡小学校も学校自体の活動はありませんが、地域の方々が、さまざまな学びの場として活用してくださいました。少しずつ紹介いたします。

舟っ子クラブ 水鉄砲合戦（7/11）

2チームに分かれた子どもたちが、水鉄砲合戦をして楽しみました。額に付けた的（金魚すくいのポイ）を破られたらアウトです。とても暑い日だったので、冷たい水が気持ちよく、子どもたちの歓声が響きました。舟っ子クラブは、土曜日などに学校施設を利用した活動を行っています。

町会 盆踊り（7/25、26）

毎年恒例の盆踊りが行われました。今年は、残念ながら夕立や雷雨の予報が出たため、7/25 だけの実施となりましたが、大人から子どもまで笑顔で、踊りや出店でのお買い物を楽しんでいました。この盆踊りは、前日の朝早くから屋台やテントを組んだり、電源を確保したり、大変な準備をして実現しています。

舟渡青健キャンプ in ハケ岳（8/21～23）

学校を離れて、3年生～9年生約40名で、ハケ岳に行ってきました。キャンドルファイヤー、カレーづくり、ぶどう狩りなど充実した時間を過ごし、最後は、小学生と中学生が「またね」と声を掛け合う微笑ましい姿を見ることができました。



早朝ラジオ体操（8/25～31）

夏休みの終わりには、早朝ラジオ体操が行われました。初日は2会場合わせて80名以上の参加があり、朝から気持ちよく体を動かしました。夏休み最終週に、朝早く起きることで、生活リズムも整います。学校としても大変ありがたいなぁと感じました。

「舟渡の子は舟渡で育てる」という合い言葉が示すように、温かく精力的な地域活動が、子どもたちの健全育成につながっていると感じました。舟渡町会、青健舟渡地区委員会をはじめ関係の皆様、本当にありがとうございました。

「救助袋」の使い方研修会

6月に都内小学校で起こった火災を受けて、舟渡小学校では、7月27日、校内に2カ所設定している「救助袋」の使い方について、保守点検委託業者の方を講師に招いて、教員研修を行いました。救助袋の設定の仕方だけでなく、先生たち自身が実際に救助袋を使って、避難を経験してみました。分かったことは「トンネルに入る時は、大人でも怖い」ことでした。研修の振り返りでは、実際に使用する際は、「子どもたちを安心させる声かけが必須ですね」など先生たちで話し合いました。また、本研修を受けて、救助袋が落下する地点に障害物が置かれないよう、路面標示を新たに設けることにしました。

安心・安全に関わる取組は、定期的な点検や研修を行って、有事に備えることが重要です。舟渡小学校では、救助袋だけでなく、他の消防設備や避難経路の確認も行いました。今後も、関連機関と連携し、安全管理の徹底に努めていきます。

